

どこかの病院の問題じゃない!

患者さん、利用者さんに、安全・安心の医療・介護を提供したい。



患者さんへの直接のお世話
以外に看護師には業務が
こんなに…

- ・記録、看護計画の立案、評価
- ・患者情報の収集
- ・採血、注射や処置の準備介助
- ・トラブル、アクシデント対応と報告
- ・家族、面会者、業者への対応
- ・医師や他の職種、他部門との調整、連絡
- ・各種の会議や委員会活動・看護研究
- …などなど



ご紹介した実態は、決してその病棟だけの特別なことではありません。似たような事態が日本中の病院にあります。看護師たちは業務量が多いと感じながら、事故が起きないように、患者さんが元気になるようにと頑張っています。そして看護師不足が患者さんにしわ寄せをしていることに心を痛め、十分なケアができないと

思い悩んでいます。

患者さんにとっても看護師にとっても看護師不足は深刻な問題です。私たちは看護師を増やして安全・安心な看護を提供するため、そして看護師が生き生きと働き続けられる環境をつくるために運動しています。

私たちの署名にご協力ください。

署名にご協力ください

- 16時間以上の長時間夜勤が増えています
- 23人に1人の看護師が過労死危険レベル
- 毎年全国で10万人以上の看護師が離職

**安全・安心の医療・介護の実現と
夜勤改善・大幅増員を求める国会請願署名**



知ってください

看護師が 足りません!

あなた(患者さん)に迷惑をかけています
ガマンしてもらっています
現場はドキッ! ヒヤッ! 😨 がいっぱい、
危険な場面がいっぱいです



大都市東京は人口約1,300万人。入院ベッドのある病院約650。総ベッド数約13万床。

最先端の設備と技術を誇る大学病院でも、中小の民間病院でも、看護師が不足しています。5年前に比れば実際に都内で働いている看護師は3,000人増えて、約11万3,000人です。しかし、仕事の量と密度はそれ以上に増えたのです。

看護師と聞いてイメージされるのは採血や注射をしている姿でしょうか?
それはホンの一部です。

看護師は治療を受ける患者さんのそばにいて、食べること・休むこと(眠ること)・動くことを支え、看護の目でお世話をしています。患者さんの体を清潔にして回復する力を助けようと頑張っています。しかし、看護師が足りません。私たちはこの間「病棟実態調査」に取り組みました。

入院病棟で看護師たちがどんな仕事をしているのか、患者さんがどういう状況になっているのかを、知ってください。そして、看護師を増やす運動を応援してください。



東京医労連 看護闘争委員会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館6階
TEL:03-3872-7191 FAX:03-3876-3173 <http://www.tokyo-iroren.net/>